




「関東食育連携プラットフォーム～この指とまれ！～」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団体名等	国際学院埼玉短期大学 KOKUSAI GAKUIN SAITAMA COLLEGE		
事業内容	<p>本学は、1983年に設立し、「誠実・研鑽・慈愛・信頼・和睦」の建学の精神のもと、人間教育と実践的な専門教育に重点をおいた人づくり教育を実践している。幼児保育学科、健康栄養学科(食物栄養専攻、調理製菓専攻)、専攻科(健康栄養専攻、幼児保育専攻)(学位授与機構認定)等を設置し、幼稚園教諭、保育士、栄養士、調理師、栄養教諭等の有資格者を養成している。2018年12月にGCNJに加入し、SDGs17目標の達成を目指し、卒業研究ゼミのテーマとする等、具体的な活動を展開している。</p>		
所在地	さいたま市大宮区吉敷町2-5	ホームページ等	sc.kegef.ac.jp/
電話番号	048-641-7468	F A X	048-641-7432
担当者	塩原明世	E - m a i l	s-shimizu@kegef.ac.jp
食育活動 (連携事例を含む)	<p>[味彩コンテスト] 1993年から開催し27回目となる埼玉県産食材を使った料理のコンテスト。関東農政局や埼玉県、NHK等の後援・協賛のもと、地産地消の推進や高校生の食育推進等を目的として開催。これまでに9,466点の応募があり、最優秀作品は大学祭の模擬店メニューとし、レシピは本学HPで公開。</p> <p>[弁当箱法講座] 食育の指導者を養成する観点から、本学学生を対象に弁当箱を用いたバランス食の指導を設計図の作成、調理実習を通して実施。</p> <p>[農商学連携によるメニュー開発] さいたま市農業青年協議会やパレスホテル大宮等と連携し、地元特産の食材を使ったメニューの考案や地産地消を推進。殊に「紅赤」については、7年間に亘り、本学学生が栽培、収穫、メニュー開発を行い、さいたま市農業祭や大学祭等で販売し、地域の健康づくりに寄与。</p> <p>[認定食育士養成講座の開設] 産学官協働で食育に関する専門知識と実践力を備え、地域の食及び食育課題を主体的に解決できる人材の養成プログラムを開発。平成30年・令和元年度は「地域での食育推進事業」として採択され、同養成プログラムによる公開講座として開講している。</p> <p>[食育料理教室] 全国調理師養成施設協会との共催により、小学生とその保護者を対象に料理教室を開講。</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>reiw</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
活動の効果	<p>味彩コンテストは、27回(27年間)継続開催し、優秀メニューの公開等により、地産地消や若者の食育推進に寄与している。また、認定食育士の取組みは、産学官の連携のもと平成26年度から3年間で、認定食育士養成プログラムを構築し、平成30年・令和元年度は、公開講座として食育推進人材養成に寄与している。</p>		
継続への課題	<p>味彩コンテストの応募作品は、これまでに9,000点を超えているが、食育を一層推進するためには、より多くの応募者の獲得と優秀作品の公開が重要であり、一層の地域と連携した広報活動が必要となる。また、食育推進のための専門人材養成に向けては、認定食育士養成プログラム等の周知を図り、より多くの受講者を確保することが課題である。</p>		

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	食育に関心がある多様な業種の方々との連携を希望します。
取組内容	<p>連携先団体の関係者から、味彩コンテストへ応募してもらう。また、連携先団体から本コンテストへの後援・協賛。</p> <p>「認定食育士」養成カリキュラムに関心のある方々から、同養成講座を受講してもらい、食育推進活動の拡充を目指す。</p> <p>SDGs17目標の達成に向け、食品ロスや地産地消等の食育の観点からの情報交換や協働した取組みの実施。</p>